I O DATA

M-MANU200142-01

17型 TFT液晶ディスプレイ

LCD-A171LW 取扱説明書

このたびは、17 型 TFT 液晶ディスプレイ LCD-A171LW（以下「本製品」と表記します。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に「本書」および添付の「LCD シリーズ取扱説明書　必ずお読みください」をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

●液晶ディスプレイは、表面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が99.99%以上の有効画素と 0.01%の画素欠けや輝点を持つことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

●この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。□にチェックをつけながらご確認ください。
万一不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

□液晶ディスプレイ本体（LCD-A171LW）
□台座底板
※本製品を机の上などに設置する場合は、液晶ディスプレイ本体に台座底板を取り付ける必要があります。取り付け方法については **本製品を設置する** をご覧ください。

□アナログ接続ケーブル
□オーディオケーブル
□AC ケーブル
☑LCD-A171LW 取扱説明書（本書）
□LCD シリーズ取扱説明書
「必ずお読みください」
□ピックアップリペアサービスのご案内
□ハードウェア保証書

参考

●ユーザー登録について
ユーザー登録をする際、シリアル番号（S/N）が必要です。
▼シリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字です。(例 S/N:ABC1234567ZX)

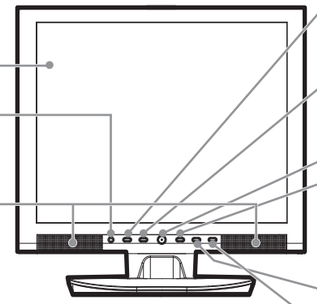
■ユーザー登録 ➡ http://www.iodata.jp/regist/

●箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。
●イラストは、実物と若干異なることがあります。

各部の名称と機能

下記では、台座底板を液晶ディスプレイ本体に取り付けたあとの図で説明します。

前面



ディスプレイ部

フォン端子
ヘッドフォンやスピーカーを接続します。

スピーカー
音声を出力します。

[Auto ／ Exit] ボタン
画像調整を自動で行うことができます。
メニュー画面での調整値の決定、メニュー画面の終了時に使います。

[🔊 ／ 🔇] ボタン
スピーカーの音量を調整するときに使います。
ミュートのオン／オフを設定するときにも使います。

電源ボタン
電源のオン／オフを行います。電源がオンになると LED ランプが緑色に点灯します。待機時は橙色になります。

[☼ ／−] ボタン
メニュー画面での選択や、調整値を減らすときに使います。
輝度を調整するときにも使います。

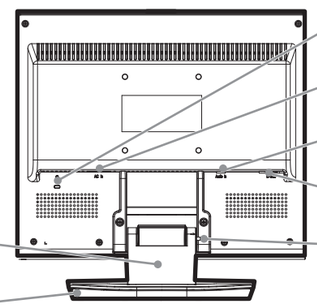
[◐ ／+] ボタン
メニュー画面での選択や、調整値を増やすときに使います。
コントラストを調整するときにも使います。

[Menu ／ Enter] ボタン
メニュー画面の表示、メニュー項目の選択決定のときに使います。

参考

●弊社ホームページにて、本製品の設定 / 調整のメニュー画面での詳細な操作方法を記載したオンラインマニュアル（HTML）を掲載しております。
➡ http://www.iodata.jp/sp/LCD-A171LW/

背面



盗難防止ホール
必要に応じて市販のセキュリティケーブルを取り付けます。

AC in コネクター
AC ケーブルを接続します。

Audio in コネクター
オーディオケーブルを接続します。

D-Sub コネクター
アナログ接続ケーブルを接続します。

ロック解除ボタン
台座ネックを折りたたむときに使います。

台座ネック

台座底板
本製品を机の上などに設置する場合は、液晶ディスプレイ本体に台座底板を取り付ける必要があります。取り付け方法については **本製品を設置する** をご覧ください。

使ってみよう

本製品を設置する

本製品を机の上などに設置する場合は、台座底板を液晶ディスプレイ本体に取り付ける必要があります。

注意

●台座底板を取り付ける際には若干の力が必要になります。
●取り扱いの際は、本製品で指を挟まないように十分ご注意ください。
●作業は机の上などの平らなところで行ってください。
また、下にやわらかい布などを敷いて、パネルに傷がつかないようにしてください。
●作業中は、液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしないよう十分ご注意ください。

❶ 片手を液晶ディスプレイ本体の背面にそえて、もう片方の手で台座ネックを起こします。

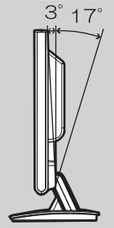


❷ 台座底板を台座ネックに「カチッ」と音がするまではめこみます。



注意

●チルト調整について
本製品のディスプレイ部は前に3°、後ろに17°の範囲で調整してください。この範囲以上に倒してご使用になると、本製品が転倒または破損する恐れがあります。



パソコンに取り付ける

❶ 本製品の AC in コネクターに AC ケーブルを接続します。

❷ 添付のアナログ接続ケーブルを、本製品背面の D-Sub コネクターに接続します。

❸ アナログ接続ケーブルのもう一方を、パソコンの ANALOG コネクターに接続します。
●アナログ接続ケーブルのコネクターには固定用のネジがついています。最後まできちんと締めてください。
●パソコンの ANALOG コネクターの位置については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

❹ 添付のオーディオケーブルを、本製品背面の Audio in コネクターに接続します。
本製品のスピーカーをご使用にならない場合は、接続する必要はありません。

❺ オーディオケーブルのもう一方を、パソコンのオーディオ出力端子に接続します。
パソコンのオーディオ出力端子の位置については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

❻ AC ケーブルをコンセントに接続します。

参考

●本製品接続後にパソコンを起動すると…　※本製品は OS 標準のドライバで動作します。
Windows XP/2000 の場合‥‥‥自動的にドライバがインストールされます。
Windows Me/98/95 の場合‥‥「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」というメッセージが表示されますので、画面にしたがってドライバのインストールを行ってください。



①［次へ］ボタンをクリック
②［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］にチェックをつけて［次へ］ボタンをクリック
③［次へ］ボタンをクリック
④［次へ］ボタンをクリック
⑤［完了］ボタンをクリック

使ってみよう つづき

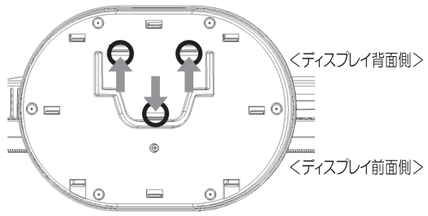
アームを取り付ける

台座底板、台座ネックを取り外して、VESA 規格に準拠したアームなどの固定器具を取り付けることができます。
アームや、アーム取り付け用のネジはあらかじめご用意ください。

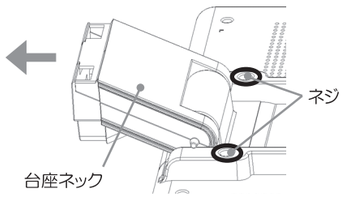
注意

- ●台座底板を取り外す際には若干の力が必要になります。
- ●取り扱いの際は、 本製品で指を挟まないように十分ご注意ください。
- ●台座底板、 台座ネックを取り外す作業は、 机の上などの平らなところで行ってください。
  また、 下にやわらかい布などを敷いて、 パネルに傷がつかないようにしてください。
- ●作業中は、液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしないよう十分ご注意ください。
- ●電源を切り、 すべてのケーブルを外した状態で作業を行ってください。
- ●ご用意いただいた固定器具の取扱説明書もご覧ください。
- ●外したネジ、 台座底板、 台座ネックは大切に保管してください。

❶ 台座底板裏面のツメ（3 箇所）を矢印方向に押して、台座底板を液晶ディスプレイ本体から取り外します。

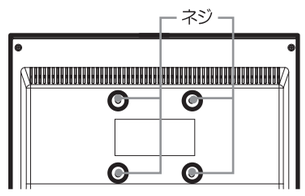


❷ 本製品背面のネジ（2 箇所）を取り外し、台座ネックを矢印方向に引いて取り外します。



❸ 本製品背面のネジ穴（4 箇所）を利用して、用意した固定器具を取り付けます。

本製品の台座器具を除いた質量は約 3.8kg です。 固定器具は
3.8kg に耐えられるような、 75mm ピッチのものをご用意ください。



本製品を箱にしまう

本製品をしまうときには、台座底板を取り外して、台座ネックを折りたたんでください。

注意

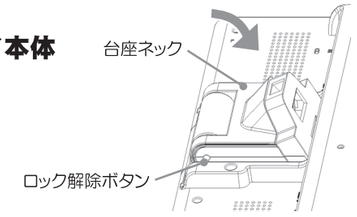
- ●台座底板を取り外す際には若干の力が必要になります。
- ●取り扱いの際は、 本製品で指を挟まないように十分ご注意ください。
- ●作業は机の上などの平らなところで行ってください。
  また、 下にやわらかい布などを敷いて、 パネルに傷がつかないようにしてください。
- ●作業中は、液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしないよう十分ご注意ください。
- ●電源を切り、 すべてのケーブルを外した状態で作業を行ってください。

❶ 台座底板裏面のツメ（3 箇所）を矢印方向に押して、台座底板を液晶ディスプレイ本体から取り外します。

上記、**アームを取り付ける** の❶をご参照ください。

❷ ロック解除ボタンを押しながら、台座ネックを液晶ディスプレイ本体側に折りたたみます。

❸ 本製品を箱にしまいます。



ハードウェア仕様

ディスプレイ本体 仕様

パネルタイプ		TFT 17 型
表示面積（mm）		337.9（H）×270.3（V）
最大表示解像度		1280×1024
画素ピッチ（mm）		0.264（H）×0.264（V）
表示色		1619 万色（擬似フルカラー使用）
視野角度		上下：135° 左右 150°
チルト角		上：17° 下 3°
最大輝度		300cd/m^2
コントラスト		700：1
応答速度		8ms
入力信号		アナログ RGB
同期信号		セパレート同期信号
外形寸法（W×D×H）		390×181×390（mm）
質量	台座あり	4.4kg
	台座なし	3.8kg
使用温度条件		0℃～ 40℃
使用湿度条件		20 ～ 80%（結露なきこと）
定格電圧		AC 100V
消費電力	最大時	45W
	待機時	2W
パワーマネージメント		VESA DPMS 互換
バックライト寿命		50,000 時間（目安）
その他		●VESA マウントインターフェイス規格対応 ●盗難防止用ホール

スピーカー 仕様

LINE IN	ステレオミニジャック φ3.5
スピーカー	1W＋1W（ステレオ）
イヤホン端子	ステレオミニジャック φ3.5

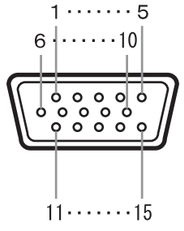
対応信号タイミング

		表示モード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
	Windows 搭載パソコン	720×400	31.5	70.0
Power Macintosh シリーズ		640×480	31.5	60.0
			37.9	72.0
			37.5	75.0
		800×600	35.2	56.0
			37.9	60.0
			46.9	75.0
			48.1	72.0
		1024×768	48.4	60.0
			56.5	70.0
			60.0	75.0
		1280×1024	64.0	60.0
			80.0	75.0
		640×480	35.0	67.0
		832×624	49.7	75.0
		1024×768	60.2	75.0

参考

- ●パソコンからの信号は全てノンインタレースである必要があります。
- ●表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。
- ●コンポジットシンクおよびシンクオングリーンには対応していません。
- ●1280×1024 未満の解像度の場合は、 拡大表示します。

アナログコネクター形状・ピンアサイン（ケーブル側）



ピン番号	内容	ピン番号	内容
1	赤映像信号入力	9	DDC +5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	GND
4	未結線	12	DDC シリアルデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用 GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用 GND	15	DDC シリアルクロック
8	青映像信号用 GND		

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2005.2.25
©2005 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.